

平成26年度米沢有為会興讓館寄宿舍OB会 総会・懇親会のご報告

興讓館寄宿舍OB会長 佐藤 毅
幹事長 樋口正宏

平成元年に発足した興讓館寄宿舍OB会は今年で四半世紀を経過し、一つの節目を迎えました。この節目に相応しい行事が出来ないか、役員会で議論してきましたが、おおかたの賛同を得て、今年の総会を米沢で開催することに致しました。一昨年の仙台以外は、東京開催でしたので機会があれば是非、OB会会員共通のふるさとの地でもあり、連絡の取れる方だけでも300人を超える会員が住んでおられるこの地で開催したいと考えておりました。

懇親会は芋煮会にしたいとの要望が多く、異例の野外での開催となりました。お天気のことが気でしたが、当日はこれ以上ない秋晴れに恵まれ、吾妻連邦や飯豊山が遠望できる鬼面川河川敷の公園は、綺麗に整備されており、すでに多くの方が芋煮会を楽しんでいました。

総会は床にシートを敷いて、全員が車座に坐り議事にはいりました。樋口正宏幹事長の開会宣言に始まり、佐藤毅会長の挨拶では、総会の米沢開催実現にお骨折りいただいた米沢支部役員へ感謝の言葉が述べられ、記念事業としての記念誌発行についても更に検討を深めていきたいとの言葉がありました。

佐藤毅会長の議長で議事が進行し、(1)平成25年度活動報告・決算報告、(2)平成26年度活動計画、予算提案、(3)OB会役員(平成26年～27年)が提案され全会一致で承認されました。また、川合勝雄東京興讓館館長より、興讓館寄宿舍の近況報告がなされて総会は無事終了しました。

引き続き、懇親会に進み、冒頭の挨拶は本多和彦米沢支部長で、米沢開催を宮坂孝夫さん(東京昭和42年)から相談され、“迷惑だった！次回米沢でやるのは25年後ですね”と本音とも冗談ともとれる発言があり、喝采や拍手が沸き起こり賑やかなスタートになりました。多忙な中、駆け付けてくれた国会図書館館長の大滝則忠さん(東京昭和39年)の発声で高らかに乾杯し、朝から準備を始めてくれた本場の芋煮やなす漬けなどふるさとの味覚をいただきながら地元の名酒を十分堪能しました。

菅野憲幸さん(東京昭和42年)の軽妙な語り口で進行し、参加者全員からスピーチを頂きました。最年長の小口進さん(東京昭和31年)からスタートして、安部壮一郎さん(仙台昭和31年)、花角慎一さん(東京昭和34年)と懐かしい顔ぶれが揃い、舎生時代の思い出や近況報告など幅広い話題が出て、時には笑い時には真剣に耳を傾けるひと時でした。閉会の挨拶は手塚修さん(東京昭和38年)で、地元の教育者らしく大変含蓄のある前向きな言葉で締め括られ、お開きとなりました。

今回の出席者は会員32名とお手伝いをお願いした女性2名と同伴者1名でしたが、米沢開催だからこそ出席された方も沢山おられました。地元で活躍されている若手OBが参加されたことが、大きな収穫でした。特に昭和50年代から平成年代入舎の方が、東京興讓館で6名、仙台興讓館で3名と全体の3分の1近くになります。近年このOB会も高齢化が進み若手がなかなか参加しない傾向にありましたが、澁刺とした若手の参加を得て、将来への展望が開け、元気をもらった会でもありました。

以上



佐藤毅 会長



本多和彦 米沢支部長